

開花期はやや早くなりました。着果は並～良好な地域が多くなりました。  
果実肥大は良好です。

## 【気 象】

表 1. 令和 8 年 2～5 月の気象 (アメダス佐倉)

月	半月	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
2 月		6.4	5.0	4.8	84	8	58	153	225	170
3 月		10.0	9.7	8.3	100	146	109	170	162	170
4 月	1	14.4	9.2	11.1	43	89	21	17	20	30
	2	15.5	14.5	12.1	21	1	21	23	32	30
	3	17.8	14.8	13.0	25	36	20	32	28	29
	4	15.4	18.1	13.9	3	0	18	44	42	29
	5	15.3	17.5	14.7	25	15	17	23	21	29
	6	16.1	16.4	15.7	54	14	16	24	39	31
月平均/計		15.7	15.1	13.4	169	155	113	163	182	180
5 月	1	18.7	17.1	16.6	61	74	16	35	38	31
	2	19.2	17.4	17.1	3	41	19	29	20	29

注 1) 平年は平成 3～令和 2 年の 30 年間の平均

2) 数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

## 【生育状況】

### ■開花・結実

2 月の気温は平年より 1.6°C 高くなりました。2 月上旬は平年より低く、自発休眠（低温を必要とする休眠）覚醒日以降となる中旬以降で気温が高く推移しました。また、3 月の気温は平年より 1.7°C 高かったため、他発休眠期（高温で覚醒が早まる休眠）が短縮され、開花期は前年より早くなりました。農林総研の開花盛は「幸水」及び「豊水」とともに 4 月 6 日と同日になりました。平年と比べると「幸水」で 8 日、「豊水」で 6 日早くなりました（表 2）。

着果は、農林総研の「幸水」と「豊水」で良、市川市の「幸水」と鎌ヶ谷市の「豊水」で並でした。

### ■果実の肥大

5 月 10 日の果実の大きさを満開後日数の横径の平年値で比較すると、「幸水」では農林総研が 107%、市川市が 106%と平年と比べ大きくなりました（表 2）。「豊水」でも、農林総研が 109%、鎌ヶ谷市が 115%と平年と比べやや大きくなりました。果実が大きかった要因は、4 月の気温が平年より 2.3°C 高く、降水量も平年以上にあったため、初期肥大が良好になったと考えられます。

表 2. 基準調査園における生育調査（5 月 10 日）

品 種	調査地	樹 齢	開花期 (月/日、(日))			着果 状況	横径 (cm、%)			縦径 (cm、%)		
			始	盛	終		果径	暦日	満開後	果径	暦日	満開後
幸 水	農林総研	21	4/ 4(+ 5, + 6)	4/ 6(+ 6, + 8)	4/14(+ 2, + 5)	良	2.52	(112, 133)	( 97, 107)	2.28	(107, 128)	( 94, 107)
	市川市	40	4/ 5(+ 3, + 7)	4/ 8(+ 3, + 8)	4/11(+ 4, +10)	並	2.54	(123, 139)	(111, 106)	2.15	(122, 124)	(111, 106)
豊 水	農林総研	45	4/ 2(+ 2, + 5)	4/ 6(+ 3, + 6)	4/13(+ 1, + 4)	良	2.62	( 97, 127)	( 91, 109)	2.61	( 94, 127)	( 89, 127)
	鎌ヶ谷市	21	4/ 2(+ 5, + 9)	4/ 6(+ 4, + 9)	4/15(+ 3, + 4)	並	2.77	(120, 145)	(108, 115)	2.63	(116, 136)	(106, 113)

注 1) 開花期の ( ) は、前年及び平年との差を示した。－は遅い、＋は早いとした。

2) 横径及び縦径の ( ) は、前年及び平年の値を 100 とした比で表した。

3) 調査日は、農林総研が 5 月 12 日、市川市と鎌ヶ谷市が 5 月 11 日。

## 【栽培管理のポイント】

### ■本摘果の実施

「幸水」等の早生品種は早急に実施しましょう。「幸水」及び「豊水」の本摘果後の着果数は、裂果や軸折れの発生を見込んで、目標収穫果数の約10%増しにします。

### ■新梢管理

翌年の短果枝の花芽を確保するため、果そう葉から2次伸長した新梢は、5月～6月上旬の短いうちに、果そう葉の2芽上（葉のない芽）で摘心します。摘心は側枝背面の果そうから発生したもの、側枝基部付近等を優先するとともに、樹勢等を考慮し過度の実施は避けてください。

### ■「幸水」の予備枝の育成

先端の新梢以外で伸長するものは、3葉残して摘心します。主枝や亜主枝から発生した予備枝候補の新梢は仰角30°程度に誘引します。

### ■病害虫対策

千葉県（5月15日発表）の病害虫発生予報によると、向こう1か月間の予想発生量は、黒星病が並、アブラムシ類がやや少、果樹カメムシ類がやや多となっています。

農林総研では、病害虫で目立った発生はありません。生産者圃場ではいくつかの圃場で黒星病、アブラムシ類の発生が見られます。気象庁（5月14日発表）によると、今後1か月は、気温が高く、降水量が多く、日照時間が少ないと予測されています。黒星病菌は降雨により飛散するため、黒星病のスス状の病斑がある果そうや果実等は見つけ次第除去し、土中に埋めるか園外に持ち出します。また、農林総研、生産者圃場ともに、変形果や有てい果の発生が見られます。有てい果の発生は、開花期間が平年に比べ高温で推移したためと考えられます。摘果の際に果形をよく確認して、できるだけ間引くようにしましょう

表3. 協力調査地における生育調査の結果（5月10日）

品種	調査地	樹齢	開花期(月/日)			開花 状況	果径(cm)		着果 状況	病害虫発生状況 及び特記事項
			始	盛	終		横径	縦径		
幸水	市原市	19	4/6 (4/10)	4/9 (4/15)	4/14 (4/19)	並	2.43 (2.09)	2.17 (1.91)	やや良	
	木更津市	26	4/3 (4/9)	4/6 (4/15)	4/8 (4/18)	並	2.71 (2.23)	2.45 (2.18)	やや良	
	印西市	28	4/5 (4/9)	4/8 (4/13)	4/12 (4/17)	並	2.47 (2.24)	2.21 (2.02)	並	アブラムシ、シクイカ、カメシ
	柏市	15	4/4 (4/9)	4/7 (4/12)	4/12 (4/18)	やや多	2.69 (2.36)	2.24 (1.99)	やや良	
	いすみ市	40	4/8 (4/12)	4/11 (4/15)	4/14 (4/18)	並	2.48 (2.00)	2.20 (1.96)	並	
	一宮町	25	4/6 (4/10)	4/10 (-)	4/13 (4/18)	並	2.00 (1.90)	1.90 (1.70)	並	
	香取市	33	4/9 (4/10)	4/13 (4/14)	4/16 (4/18)	並	2.21 (2.13)	2.03 (1.97)	並	
豊水	八千代市	20	4/1 (4/5)	4/5 (4/10)	4/12 (4/13)	やや多	2.26 (2.06)	2.30 (2.08)	良	有てい果多
	館山市	23	4/7 (4/6)	4/10 (4/12)	4/14 (4/14)	並	2.53 (2.54)	2.73 (2.63)	並	黒星病有
	旭市	25	4/3 (4/9)	4/5 (4/11)	4/7 (4/13)	やや多	2.69 (2.14)	2.60 (2.07)	並	黒星病、アブラムシ有
	香取市	23	4/4 (-)	4/7 (4/11)	4/12 (4/16)	並	2.55 (2.30)	2.53 (2.42)	並	変形果多
	四街道市	13	4/2 (4/7)	4/5 (4/10)	4/8 (4/14)	並	2.83 (2.45)	2.74 (2.25)	並	
あきづき	鎌ヶ谷市	27	4/1 (4/4)	4/7 (4/10)	4/14 (4/15)	並	2.49 (2.14)	2.29 (2.15)	良	5/11調査
	船橋市	15	4/5 (4/10)	4/9 (4/14)	4/16 (4/18)	並	2.26 (1.96)	2.40 (2.00)	並	5/8調査、長果枝の着果やや不良
	松戸市	28	4/4 (4/10)	4/7 (4/13)	4/10 (4/16)	やや多	2.81 (2.29)	2.50 (2.06)	やや良	
	いすみ市	17	4/8 (4/14)	4/10 (4/17)	4/16 (4/20)	並	2.18 (2.16)	2.02 (2.01)	並	黒星病が例年より目立つ

注) ( ) 内の値は、前年の値を記載した。

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/seiiku-zyoho.html>